公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院

たまねぎ通信

No.67
2025.9

勤医協中央病院
開院50周年記念号

50th anniversary











救急搬入の
積極的受け入れ




看護用カートを活用し
ベッドサイドケアを充実



勤医協中央病院
開院50周年

これからも地域住民と共に歩む病院として住民の命と健康を守る医療を実践し続けます



統括院長 鈴木隆司

誰一人残されることのない医療を追求します

勤医協中央病院は1975年にたまねぎ畑の真ん中に開院し、増築・建て替えを経て、今年50周年を迎えました。北海道勤医協のセンター病院として、地域住民に必要な医療を提供し、2013年の新築移転後は、地域医療構想の中で医療連携、医療介護連携に重点を置き、札幌市の救急医療体制に貢献しています。現在、当院が地域医療を支える重要な役割を継続できているのは、地域の皆さまのご理解とご協力があってのことと深く感謝を申し上げます。

医療情勢が厳しさを増す中も、医療ニーズの変化に対応しながら、医療介護関係の皆さま、地域の皆さまの期待に応え続けられるよう改革を重ね、誰一人取り残されることのない医療の提供を追求し続けます。

今後ともご支援ならびにご教示を賜りますよう、お願いいたします。

病床数

- **450床**（個室数：110床）
  - ICU：6床
  - ハイケアユニット：8床
  - 緩和ケア：24床

職員数 1065人（2025年3月現在）

- 医師：97
- 看護師：412
- 准看護師：1
- 介護福祉士：29
- 薬剤師：27
- 診療放射線技師：32
- 臨床検査技師：41
- 臨床工学技士：19
- 視能訓練士：3
- 理学療法士：48
- 作業療法士：18
- 言語聴覚士：12
- 管理栄養士：9
- 公認心理師：1
- 救急救命士：6
- 社会福祉士：10
- 事務：105
- 施設職：2
- 用務職：5
- 介護職：6
- パート職員：164


週1回実施される感染対策チーム
によるラウンド


定期的に実施する
医療安全委員によるチームラウンド



「ふれあい健康まつり」の
開催

医療系の各養成校から
の実習生受け入れ



実績（2024年度）

- 外来一日平均患者数…… 344.4人
- 救急車搬入傷病者数…… 5,520人
- 紹介件数（法人内外）…… 5,523件
- 逆紹介件数…… 4,149件
- 病床稼働率（一般）…… 92.2%
- 無料・低額診療制度利用件数… 3,221人

病院機能評価認定

「一般病院2 3rdG：Ver.3.0（副）緩和ケア病院」
（2024年2月更新）

各部署での学習会
も活発に実施




2024年4月に高規格救急車を導入し
地域の救急医療に貢献


多職種が連携し患者さんを
多方面からサポート


JMAT（日本医師会災害医療チーム）に
参加し全国の被災地へ

勤医協中央病院 50年目の今

勤医協 中央病院 50年のあゆみ



「LOVE & PEACE」CONCERT



勤医協ぽぷら保育園



開院10周年記念祝賀会



看護ステーション



看護師確保をやりあげる中病全職員集会



医師も参加した街頭宣伝行動



医局会議



第２期工事の様子


建設予定地を見学する社員職員



第２期工事竣工



開院当時の外観

1973年 8月 北海道勤医協第33回定期総代会で「センター病院建設方針」を正式決定
1974年 10月 勤医協中央病院建設着工
1975年 6月2日 **勤医協中央病院開院**（150床）
（札幌市東区伏古10－2）
●診療科目：10科（内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、肛門科、放射線科、麻酔科、病理科）
●職員数：116人（うち医師21人）
●初日外来数：21人（1カ月後：74人）
●初日入院数：27人（1カ月後：134人）
院内保育園「勤医協ぽぷら保育園」開園
札幌東社員支部結成 83人参加
1976年 1月
12月 第2期工事（新館8階建）着工
有珠山噴火災害 被災地に医療班派遣
1977年 8月
11月 **病院増築・新館一部完成**
（地下1階と地上5階まで／286床）
透析室開設
1979年 4月 **新館6～8階完成**（316床）
勤医協准看護婦学院を閉校し、8階に勤医協札幌看護専門学校を開校
1981年 5月 **第1別館完成**（地上4階）
10月 北炭夕張新鉱ガス突出事故に医療班派遣
11月 勤医協ぽぷら保育園新築移転（東区伏古9－2）
1983年 2月 CT稼働
1984年 6月 第1回東区健康まつり（会場：伏古公園）開催
3000人来場
1986年 7月 血管造影装置稼働
1988年 7月 **第2別館完成**（地下1階、地上3階）
1990年 9月 病院増改築工事完了（352床）
1992年 2月 MRI稼働
1995年 1月 札幌東友の会設立
（2014年：札幌東健康友の会に改名）
阪神淡路大震災
被災地（神戸）に医療支援職員を派遣
7月 病院増改築完了（10病棟457床）
ICU開設
1997年 4月 厚生省臨床研修病院認定
1998年 5月 伏古10条クリニック開院（第1別館）
7月 院内共闘委員会が「LOVE&PEACE」を開催
2000年 4月 有珠山噴火災害に医療班派遣
2002年 4月 **無料・低額診療事業を開始**
4月 新伏古10条クリニック開設（東区伏古10－3）
●診療科目：内科・小児科・皮膚科
2003年 4月 勤医協ぽぷら保育園が認可園に移行
10月 病院機能評価認定
●Ver.4.0
2004年 4月 医師臨床研修制度開始、研修施設指定
（従：札幌病院他）
2005年 10月 日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設認定
2006年 6月 外来化学療法室開設
2007年 2月 中病9条の会の結成総会
10月 ホスピスケア病棟開設
2008年 1月 臨床研修評価認定
3月 **電子カルテシステム稼働**
4月 第二種社会福祉事業開始
11月 病院機能評価認定更新
●Ver.5.0
2009年 10月 救急外来および救急病棟改修
2011年 3月 東日本大震災 被災地に医療・介護支援隊を派遣
4月 内科・外科が統合した疾患センターを7センター開設
11月 臨床研修評価認定更新
2012年 4月 **北海道勤医協が「公益社団法人」登記**
2013年 4月 北海道がん診療連携指定病院に指定
5月 **新築移転**（地上6階＋塔屋階／450床）
（東区東苗穂5－1）
8月 放射線治療開始
11月 大規模災害を想定した訓練を初めて実施
2014年 7月 コードホワイトに関する運用を開始
病院機能評価認定更新
12月 ●一般病院2 3rdG:Ver.1.0」
2015年 4月 血液内科開設、脳卒中診療開始
11月 臨床研修評価認定更新
2016年 4月 熊本地震 被災地支援に職員派遣
10月 医療連携・患者支援センター開設
2017年 10月 治験実施施設のGCP規制要件に関する調査の受審
2018年 7月 脳神経内科開設
9月 北海道胆振東部地震・全道停電
●災害モード診療
●被災地支援に職員派遣
マラウィ共和国に旧病院ベッド寄贈
2019年 2月 病院機能評価認定更新
3月 ●一般病院2 3rdG.Ver.2.0、（副）緩和ケア病院
4月 血管造影装置更新
●X線アンギオグラフィーシステム キヤノンメディカルシステムズ「Alphenix」
9月 院内保育園ないろ開園（伏古10－2）
11月 臨床研修評価認定更新

建設中の様子
完成直後の紹介動画
動画もご覧ください！

2020 11月 COVID-19拡大防止の対応
4月 総合診療科の主軸を勤医協札幌病院へ移動
5月 COVID-19院内集団感染発生17人陽性
2021年 6月 COVID-19専用病棟（3西病棟）9床運用開始（～2023年9月）
2022年 9月 総合医療情報システムを変更
●キヤノンITSメディカル「Prime Karte」
2024年 1月 能登半島地震災害にJMAT、統括JMAT派遣
2月 病院機能評価認定更新
●一般病院2 3rdG.Ver.3.0、（副）緩和ケア病院
4月 COVID-19専用病棟（3西病棟）が回復期リハビリテーション病棟として26床で再開
4月 **自院高規格救急車導入**
2025年 6月 勤医協中央病院「開院50周年記念式典」を多目的ホールみなくるで開催


血管造影装置「Alphenix」


高精度放射線治療システム「Cliniac-ix」


遺伝子増幅検査装置（COVID-19検査）


COVID-19拡大時の感染対策個人防護具


感染対策された救急処置室


COVID-19対策を検討する拡大ICT会議

道民の協力を得て建設された医療機関

地域医療を守り育てた団結と決意



1970年8月の北海道勤医協第30回定期総代会で決定した「第1次5カ年計画」の中に、「全道の民診のセンターとなりうる、より高い医療内容をもつセンター病院の構想について検討し、練り上げた計画と目標をもつ」ことが掲げられました。

1973年に「センター病院構想」が決定したものの、その行く手には建築資材の高騰が立ちはだかりました。厳しい局面を乗り越えるため、全道各地に派遣した医療キャラバン（医師、看護師、事務員で構成された、いくつものチームがへき地で検診を実施）が病院建設のための「協力借入金の募集」を展開。1万2000人以上の道民の協力を得て、やっと建設工事が開始されました。

開院に先立ち開かれた勤医協中央病院第1回全職員集会では「道民の協力を得て建設された医療機関だからこそ、患者の人権を尊重し、民主的な医療機関であり続けよう」と院長を中心に全職員が団結し、前進への決意を共有。116人の職員が1975年6月2日の勤医協中央病院開院へ向けて心を一つにしました。

歴代院長

初代（1975年6月～）

藤井 敬三

2代目（1980年1月～）

河内 秀希

3代目（1981年6月～）

大橋 晃

4代目（1984年4月～）

渡辺 武夫

5代目（2000年2月～）

舛田 和比古

6代目（2001年4月～）

伊古田 俊夫

7代目（2008年4月～）

田村 裕昭

8代目（2018年3月～）

堺 慎

9代目（2018年6月～）

鈴木 隆司

地域の中で選ばれる病院 職員が誇りを持って働ける病院をめざします



10代目
勤医協中央病院 院長
（2025年1月～）
湯野 暁子

2002年に当院に入職し、2025年1月に勤医協中央病院の第10代院長を拝命いたしました。地域の中核病院の院長としての責務を果たすため、職員と共に「救急医療」「がん診療」「専門的医療」のさらなる充実に力を尽くしています。2025年は被爆80周年の節目です。当院としても平和への思いを大切にしながら、全ての人が安心できる医療と社会の実現に向け、引き続き努力を重ねたいと思います。

これからも、「地域の皆さま、地域の医療機関や福祉・介護施設の皆さまに信頼され選ばれる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」をめざし邁進いたします。

病院敷地内に建立される「9条の碑」

「平和への願い」を広げたい

「9条の碑」建設札幌東区実行委員会 副代表
宮川 潤さん（元北海道議会議員）



日本の「憲法9条」は平和主義を規定し、戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の否認を定めている重要な条文です。日本の政府に憲法9条を改正しようとする動きがあることから、自国民が戦争に巻き込まれる可能性が出てくると危機を感じています。

全国各地に「9条の碑」は建立されていますが、札幌にはありません。そこで、勤医協札幌東社員支部の呼びかけに賛同した23団体が「9条の碑建設札幌東区実行委員会」を組織し、「平和への願いを石に刻んで後世に伝えましょう」と募金を呼び掛けました。

建立場所は勤医協中央病院の敷地内で、2025年11月3日に除幕式を行う予定です。地域住民の協力を得て完成した「9条の碑」が、平和を願う人々の輪を広げることを願っています。



9条の碑の完成イメージ画像

地域の健康づくり活動

地域住民と病院をつなぐ架け橋に

札幌東健康友の会 会長
阿部 真智子さん



札幌東健康友の会は2025年に30周年を迎え、会員が約2万人以上になりました。自分の健康・家族の健康・地域の健康を守るために、健康相談会や地域住民を対象とした訪問活動、居場所づくり活動などを、勤医協中央病院の職員と一緒に行っています。

勤医協中央病院は、高齢社会を支えるために欠かせない存在です。地域と病院との懸け橋的な役割を果たすために友の会の活動を活発化し、顔を合わせた時に笑顔で声をかけ合える関係を数多く築きたいと思っています。


友の会役員・職員合同会議

発行／公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院　発行責任者／事務長 澁谷 幸伸　制作／有限会社 慶文社

たまねぎとぴっくす

開院50周年記念式典

地域の方もお招きし歴史を振り返りました

勤医協中央病院開院50周年の記念式典を2025年6月2日に、当院2階の多目的ホール「みなくる」で開催しました。

会場には職員や札幌東健康友の会会員、など約100人が集まり、オープニングでは、1975年6月2日に150床で開院した勤医協中央病院の歴史を写真で振り返るスライドショーが上映されました。小市健一理事長の挨拶に続き、来賓からは大橋晃名誉院長、札幌東健康友の会の阿部真知子会長と勤医労中病支部（勤医協労働組合中央病院支部）の上原尚紘執行委員長が、それぞれに開院当時を振り返り感謝を述べ、今後の医療活動への期待を寄せました。

閉会式では、湯野暁子院長が「無差別平等・地域に寄り添う医療を原点に、救急医療や専門的医療の充実をめざしたい」と今後の展望を示し、参加者全員の「一丁締め」で記念式典を締めくくりました。





阿部 真知子 氏



大橋 晃 氏



湯野 暁子 院長



上原 尚紘 氏



公益社団法人 北海道勤労者医療協会

勤医協中央病院

Kin-ikyo Chuo Hospital

〒007-8505 札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1
☎011-782-9111（代表） FAX011-781-0680

●外来診療はすべて予約制です　●救急は24時間受け付けています

【休診日】第4土曜、日曜、祝日、年末年始（12月30日～1月3日）

診療科目

内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　糖尿病内分泌内科
リウマチ科　腎臓内科（人工透析）　血液内科　脳神経内科　緩和ケア内科
外科　呼吸器外科　心臓血管外科　消化器外科　肛門外科　肝臓外科
膵臓外科　乳腺外科　整形外科　泌尿器科　婦人科　眼科　精神科　救急科
麻酔科　リハビリテーション科　放射線診断科　放射線治療科　病理診断科

勤医協中央病院 周辺地図



診療日（除土曜）には無料巡回バスを運行しています

詳しくは勤医協中央病院ホームページで

きんいきょう　検索

関連施設

勤医協伏古10条クリニック
〒007-0870 札幌市東区伏古10条3丁目2-8
☎011-786-5588 FAX011-782-3428

理念 －医療・福祉宣言－

私たち勤医協中央病院は、地域の人々に支えられ、この地域になくてはならない病院として発展していくことをめざし、ここに「勤医協中央病院　医療･福祉宣言」を発表し、「勤医協綱領」に基づき、その実現に努めます。

1. 安全・安心で納得のいく医療・福祉をすすめます。
2. 地域・友の会とともに健康で住みやすいまちづくりをめざします。
3. 互いに学び成長する職場・病院づくりに努力します。

基本方針

1. 札幌市北東部の地域中核病院として、急性期医療とがん診療、そして専門的医療を柱に、患者さんの要求に応える医療・福祉の連携を推進する医療機関として発展していきます。
2. 北海道の地域崩壊・医療崩壊を防止する運動・支援する運動の一翼を担う病院として行動していきます。
3. 災害時・緊急時には病院をあげて地域と住民を守る医療機関となれるように整備を進めていきます。
4. 患者さんとの信頼関係を大切にし、良質で安全な医療を、「共同の営み」として提供する、より高い技術も兼ね備えた病院をめざします。
5. 臨床研修病院として、民主的な集団医療の実践を通じて、人間の尊厳および権利を尊重できる医療人を育成します。
6. 地域住民や地域の医療・福祉施設とも協力し、子供から高齢者まで安心して住みつづけられるまちづくり、憲法と平和が守られる国づくり、医療・介護改善の運動をすすめます。
7. 民医連･勤医協綱領に基づき、無差別平等の医療実践をめざします。

私たちは、これからも無差別・平等の医療をめざし、無料・低額診療制度を継続します

医療連携・患者支援センター

連携医療機関専用連絡先
☎ 011-787-7037
FAX011-784-2735

地域に開かれた病院の窓口として以下の業務を行っています

- ●地域の開業医の先生方からの紹介や逆紹介
- ●患者相談窓口
- ●入退院支援と転院に伴う調整
- ●医療福祉相談
- ●患者さん、ご家族への療養支援・がん相談支援

勤医協中央病院 問い合わせ　☎011-782-9111（代表） FAX011-781-0680